

昭和15年(1940)に日本で初めて女性弁護士となった中田正子は、昭和25年(1950)鳥取市馬場町に法律事務所を開業します。ここはかつて、鳥取藩の侍で初代鳥取市長になった岡崎平内(7代目岡崎平内可観)の屋敷でした。正子はその応接間を法律事務所として使用し、たくさんの訪問者の相談に応じていました。

正子は、この事務所を活動の拠点として、昭和44年(1969)には鳥取県弁護士会会長や日本弁護士連合会理事を歴任する一方、地元鳥取市で開催される無料法律相談を担当したり、昭和61年(1986)の男女雇用均等法施行に伴って、鳥取機会均等調停委員や鳥取家庭裁判所参与員を務めたりしました。当時の事務所内には、それらさまざまな弁護士活動の功績を示す数多くの賞状類のほか、たくさんの法律関係の書籍や弁護士関係の書



事務所内の中田正子(個人蔵)

日本初の女性弁護士
なか たまさこ
中田正子の生涯

おうちだに画報

類が山のようにあり、日ごろの熱心な研究の様子が伺えます。また、平成14年(2002)に正子が91歳で亡くなるまで敷地内に立っていた「中田正子法律事務所」の看板と標柱は、弁護士中田正子がこの鳥取のこの場所で長きにわたり活動してきたひとつの証でした。

鳥取での弁護士活動など、「中田正子」の生涯を回顧する展覧会をこの機会にご覧ください。

(やまびこ館学芸員 奥村寧子)

平成18年度展覧会
日本初の女性弁護士 中田正子

と き 5月21日(日)まで
午前9時~午後5時

入館料 一般500円
(小・中・高校生、70歳以上は無料)

<関連事業>

学芸員講座

と き 5月3日(水・祝)午後2時
ところ やまびこ館 地下研修室

事前に電話でご予約ください(定員30人)

ギャラリートーク

と き 5月14・5月21日(日)
午後2時

ところ やまびこ館 特別展示室

ギャラリートーク終了後、明治大学創立者の岸本辰雄と明治大学出身の中田正子ゆかりの地を解説しながらご案内します(定員20人)

問い合わせ先 やまびこ館 上町88

☎(0857)23-2140



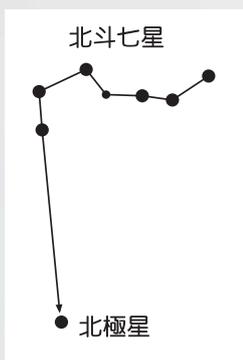
問い合わせ先
さじアストロパーク
佐治町高山1071-1 ☎(0858)89-1011

北斗七星から北極星を見つけよう

「知っている星座を教えてください」とたずねると、必ずと言っていいほど、「北斗七星」が登場します(正確に言うと、北斗七星は「おおぐま座」の背中からしっぽにかけての一部分です)。

1年のうちでも、今ごろが北斗七星を見つけやすいころです。北斗七星が見つかったら、方角の目印でもある北極星を見つける手がかりになります。北斗七星はひしゃくやスプーンの形にたとえられますね。そのひしゃくのはしにある2つの星の間隔を、5倍程度伸ばしたところに星が見つかります。これが「北極星」です。北極星の輝く方向が北ですから、方角を確かめることができます。なぜ、北極星がいつも北の方角にあるのかというと、地球の自転軸がこの星の方に向いているからです。

ぜひ本当の星空で、北斗七星から北極星を見つけてください。



佐治天文台長 香西洋樹の「空の向こうの物語」

Vol.7 端午の節句

5月の声を聞くと、青空に鯉幟が高く舞い、男の子のいる家々では武者飾りなど出して座敷を飾ります。日本古来の、麗しい習慣で、男子の成長を祝う慣わしでした。ところが、最近ではいわゆる新暦、太陽暦で祝う家が多くなってきて、古来からの伝統的な端午の節句の意味が損なわれてきたように感じます。

伝統的な端午の節句は、五節句の一つとして祝われてきました。五節句とは1月7日の七日正月、3月3日の上巳の雛祭り、7月7日の七夕、9月9日の重陽と合わせて5月5日の端午を祝う慣わしでした。旧暦である太陰太陽暦では、1月7日には七日月(半月に近い月)、3月3日には三日月、七夕には七日月、そして重陽には九日月(半月を少し過ぎた月)がそれぞれ夕空に懸かっています。端午の節句も例外ではありません。夕空には研鎌のような五日月(半月の少し前の月)が輝いているはずなのです。ところが、新暦では月は日付とは無関係。夕空に月のない端午の節句もあるのです。これから満月に向かう五日月。男子の成長と一家の繁栄を祈念する行事に相応しいではありませんか。

